

事務事業評価表

○基礎情報

課名		環境保全課	作成責任者
施策目標	30	快適で安全な生活環境を守る	添田 裕巳

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
1 人	9 人	0 人	0 人	2 人	10.73 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
786 時間	7.3 時間

(施策のねらい)

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
揮発性有機化合物(VOC)大気排出量削減率	50.50%	30.00%	24.6%	38.1%	48.1%
水質排水規制基準適合率	94.7%	100%	85.7%	78.6%	100.0%
工場・事業場定期立入調査件数	84件	80件	110件	84件	95件

1	市民・事業者などの意識やモラルの向上
2	地域の環境保全活動や美化活動の促進と支援
3	生活環境の向上
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円) H30決算(円)	R元予算(円) R元決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれ (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	環境保全啓発指導事業	1	1.12	一般	1,810,000 1,716,502	1,617,000 1,562,132	小中学生を含めた市民と共に、大気環境や水環境の調査等を通して、環境保全の意識向上が図れた。	市民参加型事業の参加人数	53人	148人	S	変動なし	●	
2	美化推進事業	2	2.48	一般	12,397,000 12,393,104	12,162,000 12,107,606	市民に対して様々な媒体を使い啓発を行い、海岸清掃や地域清掃等を通して、きれいな海岸、きれいなまち並みの形成に取り組んだことにより、美化意識の高揚が図られ、イベント等への参加者も増えた。	海岸及び街頭キャンペーンの実施回数	4回	2回	A	変動なし	●	
合計					R元予算(円) R元決算(円)		13,779,000 13,669,738							

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

環境保全課の第4次実施計画事業の政策的事業は、「環境保全啓発指導事業」、「美化推進事業」の2事業である。

「環境保全啓発指導事業」については、昨年同様、市内中学校への環境学習や茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会と共催した河川生物相調査などを実施した。目標値より大幅に多い人数の参加者であり、小中学生を含めた幅広い市民に対して啓発することが出来たことから「S」評価とした。また、今後の事業実施については新型コロナウイルス感染症対策を鑑みコロナウイルス感染流行時期は一時的に事業縮小、保留、中止もありうる。今後の流行の情勢を見極めながらの事業実施を行いたい。

「美化推進事業」については、美化キャンペーンクリーン茅ヶ崎(9月)及び街頭美化キャンペーンが荒天のため中止となり、「A」評価となったが、実施したイベントでは、マイクロプラスチックに特化したミニコーナーの開催などから、前年度と比較するとイベントへの参加者が増加した。そのほかにも、桂川・相模川流域協議会シンポジウムや民間事業者との協働によるキャンペーンを開催し、海岸パトロール、マナー啓発事業、補助金事業については、順調に行うことができ、成果を出すことが出来た。また、民間事業者に対して、本年度(R2)実施事業の調整を図るなどの連携を深める取り組みを行った。今後も多くの方にイベント等に参加してもらえるよう工夫を行い、事業を進めていきたいと考える。

環境保全課の事業は、環境汚染事故や公害への対応が主なもので、全庁的にも苦情受付件数の多い課である。公害苦情への対応は、受身的な要素が強く、発生すれば、直ちに、課全員で対応することになるが、状況によっては時間外勤務の増大を招くことになる。このことについては、環境への影響を監視するための調査、公害関係法令の遵守状況確認のための立入調査及び届出等の審査など、通常業務での公害の未然防止を図る取り組みに努めている。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
1	環境保全啓発指導事業	長年実施してきた市民参加Nox 測定については当初の目的を達成したため、事業終了を視野に入れた見直しを行う。
2	美化推進事業	「美化キャンペーンクリーン茅ヶ崎」は5月末及び9月の年2回開催しているが、近年の異常気象に伴う猛暑による安全面への懸念や、新型コロナウイルス感染症予防対策に鑑み、9月開催を見直し、秋に民間事業者と協働で実施している「特別美化キャンペーン」との統合を図る。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
－	－	環境保全事業の目的である公害の未然防止や河川などの水質保全については、行政指導だけでは限界があり、市民や小中学生の意識の向上が将来の環境保全に不可欠である。 事業の休・廃止は将来の環境保全行政に支障を及ぼすと考えているため事業の休廃止は困難と考えている。